

## 第2回 大学評価コンソーシアム総会・報告

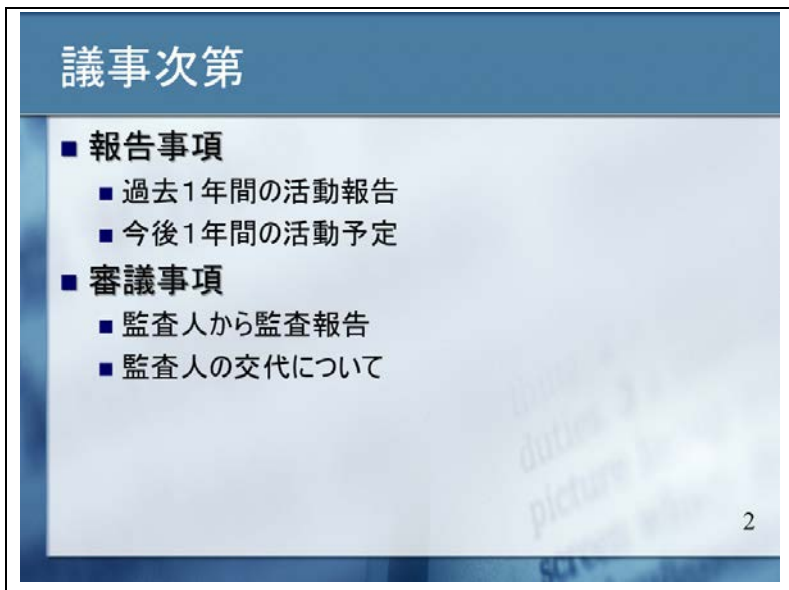
日時：平成25年8月22日(木) 17:20-17:40

於：神戸大学 六甲台キャンパス 百年記念館 六甲ホール

出席者：64名程度



第2回の大学評価コンソーシアム総会を始めさせていただきます。



議事ですが、報告事項が2件、審議事項が2件です。報告事項は、過去1年間の活動報告と今後1年間の活動予定で、審議事項は、監査人から監査報告および監査人の交代について、ご審議いただければ、と思います。

## 目標とその実現のための措置

- 1) 評価を通して、大学の教育、研究、諸活動の充実につなげるための支援を行う。
- 2) 実践を基本として、役に立つ知識・スキルの共有や、事例の分析を行う。
- 3) 評価に携わるすべての人(大学、評価機関、政府等)に役に立つ活動とする。



H24から5年間

**行動計画1:** 大学評価に携わるすべての人が「評価」という取り組みを通して、大学の改善を図って いくための理解を深めるための支援を行う。

**行動計画2:** 評価人材の能力・スキルを明らかにし、評価人材が大学の改善のために効果的な支援が行えるような具体的なテーマを設定し、目的を明確にした評価人材の育成、資質の向上を図る。

まずは、目標とその実現のための措置ということで、大学評価コンソーシアムとしては、基本的な目標として3つ掲げております。1つ目は、評価を通して、大学の教育、研究、諸活動の充実につなげるための支援を行う。2つ目は、実践を基本として、役に立つ知識・スキルの共有や、事例の分析を行う。そして3番目は、評価に携わるすべての人(大学、評価機関、政府等)に役に立つ活動とするということです。それらの目標

を実現するために平成24年度から5年間で、以下の2つの行動計画を立てております。行動計画の1番目としましては、「大学評価に携わるすべての人が「評価」という取り組みを通して、大学の改善を図って いくための理解を深めるための支援を行う。」ということで、この担当者集会の開催などがそれにあたります。行動計画の2番目ですが、「評価人材の能力・スキルを明らかにし、評価人材が大学の改善のために効果的な支援が行えるような具体的なテーマを設定し、目的を明確にした評価人材の育成、資質の向上を図る。」ということで、分科会や勉強会のターゲット設定やコンテンツ開発のために評価、IR人材の能力定義を進めております。

## 行動計画に沿った活動の報告

### ■ 平成25年5月9日

#### IR実践に向けた数量データ分析に関する勉強会(21名参加)

・評価の高度化、効率化やIR実践に向けた数量データ分析に向けて、参加者の皆様と学校基本調査のデータをどのように活用することができるのか、その活用可能性について討論を行った。

### ■ 平成25年8月22、23日

#### 大学評価担当者集会2013開催(132名参加)

評価・IRシンポジウム「大学に求められるIR機能の実現に向けて」(神戸大学主催)

第一分科会「評価とIR:活用編」(62名登録)

第二分科会「初めて評価を担当される方へ」(25名登録)

第三分科会「自己評価能力を高めるための目的・計画と指標の作り方 中級編(ステップ3)」(24名登録)

第四分科会「学生調査:入門編」(22名登録)

4

行動計画に沿った活動の報告をさせていただきます。今年は、5月9日に神戸大学で、「IR実践に向けた数量データ分析に関する勉強会」という勉強会を開催しました。21名の参加がありました。大学ポートレート(仮称)の動きに合わせて、大学基本情報の公表が3月にありましたことを受けて、大学評価コンソーシアムといたしましても、評価の高度化、効率化やIR実践に向けた数量データ分析に向けて、参加者の皆様と

学校基本調査のデータをどのように活用することができるのか、その活用可能性について討論を行ないました。報告書は鋭意作成中でございますので、いましばらくお待ちください。8月22、23日の大学評価担当者集会2013開催については、今日は神戸大学さんと共催のシンポジウムで明日は、4つの分科会が開催されます。

## 行動計画に沿った活動の報告

- 行動計画2に従い、評価人材とIR人材を統合した意思決定支援の能力の段階別マッピングについてたたき台を作成(2013・第一分科会)。

### <自己評価>

- 担当者集会と勉強会を開催しただけであったが、目標や行動計画に照らして、量と質の両方を満たすものであったか、と考えると、一定程度の質があったことはアンケートからも伺えるが、ニーズを踏まえたものであったかどうかは確認が必要。
- 報告書やガイドラインを作成したが、一部は作成できていない。必ずしも、全員が参加できるわけではないし、分科会は平行なので、報告書などで知見を共有することは不可欠であろう。
- 行動計画2については、早めに作成し、分科会のターゲットなどの明確化を図る予定であったが遅れている。

5

行動計画2に従い、一応、評価人材とIR人材を統合した意思決定支援の能力の段階別マッピングについてたたき台を作成しまして、明日の第一分科会で用いる予定です。

<自己評価：小湊卓夫>

大学評価担当者集会と5月に大学基本情報の勉強会を開催したわけですが、これで十分なのか、と言われると、まだこの体制で始めて間もないので、もう少しいろいろ

試行的にやってみる方向で考えています。ニーズを踏まえたものだったのか、ということにつきましては、もう少しみなさんのご意見などを伺って行く必要もあるかと思いますが、とにかく試行的にいろいろやらせていただければ、と思います。報告書などにつきましては、原則的にwebサイトに実施報告を掲載して、必要に応じてPDFの報告書も作成しております。これらの情報はメーリングリストを使ってみなさんと共有しておりますが、一部は作成できていないものもありまして反省しており、早急に改善したいと思っています。行動計画2についても、なるべく早めに作成し、分科会のターゲットなどを明確に絞ってやっていく予定ではあったのですが、思うようなスピードで進んでいない、というところがありますので、これも早急に対応していこうと思っています。

## 今後1年間の活動予定

- 平成25年11月  
自己評価能力を高めるための目的・計画と指標の作り方 初級編(ステップ1・2)開催[於：京都市]
- 平成25年度内  
科研費データを用いた研究力把握勉強会  
大学の測り方に関する勉強会
- 平成26年8月  
大学評価担当者集会2013開催

6

次年度計画ですが、ほぼ確定なのはこれらになります。まず去年の第三分科会の内容を11月に京都で開催します。どうしても、他の分科会に出席すると出られなかったりしますので、大学評価・学位授与機構と機構の田中先生のご協力で研修会を開催します。年度内には、2つのイベントを考えています。JSPSの科研費のデータベースを用いて、ベンチマークなどの活用可能性について勉強会を開催予定です。「大学の測り方に関する勉強会」については、9月に訪米して具体的に米国のIRオフィスが、どのようなデータをどのように使っているのか、ということ調査してきますので、その成果をみなさんと共

り方に関する勉強会」については、9月に訪米して具体的に米国のIRオフィスが、どのようなデータをどのように使っているのか、ということ調査してきますので、その成果をみなさんと共



有できるのではないかと、思っています。平成26年8月には、大学評価担当者集会 2013 ということで、日程、場所ともに未定ですが、なるべく多くの方に参加いただける場所と日程を検討しております。

**過去1年間の幹事会**

- 平成24年11月5日(於:福岡大学)  
・担当者集会2012の反省と報告書について
- 平成25年3月1日(於:名城大学)  
・担当者集会2013の企画について
- 平成25年6月4日(於:神戸大学)  
・大学評価担当者集会2013について

7

幹事会については、3回開催しております。去年の11月に福岡大学で担当者集会 2012 の反省と報告書をどのように作るか、ということについて話し合いました。今年は3月に名城大学で、今回の担当者集会 2013 の企画について議論し、6月には神戸大学で担当者集会の詳細について、いろいろ準備を行いました。

**過去1年間の運営について**

- 重要な決定事項の会員への周知  
・担当者集会2013の開催や内容については、決定次第報告することが出来た、と考えられる。
- 金銭の授受を伴う事業について  
・実施していない。
- その他  
・総会の決定事項の公表は遅滞なく行っていると考えているが、幹事会の議事メモ等の公表が遅れている。

8

<自己評価：小湊卓夫>  
重要な決定事項の会員への周知ということについては、大学評価担当者集会の開催や内容についてメーリングリストなどを用いて周知できたと思っています。金銭の授受を伴う事業については、まだなんとかボランティアで行う、という主旨を保つことが出来ていますので、一切お金はいただいております。総会の決定事項の公表は遅滞なく行っていると考えていますが、幹事会の議

事メモ等の公表が遅れておりますので、早急に改善したい、と思います。

#### ○質疑応答

妹尾（岡山大学）：8月下旬だと国立大学だと法人評価のヒアリングがあったり、宿泊関係でも甲子園の決勝があったりしますので、大学評価担当者集会の日程についてご配慮いただけるとありがたい。

寫田：昨年9月に開催しましたところ、私立大学さんの一部で授業が始まっていて、というのが

ありましたので、今回は8月に開催してみました。どのあたりがベストなのか、また、みなさまの意見をいろいろ伺いながら決めていきたいと思っております。ご意見ありがとうございます。

**監査人から監査報告**

- 監査人  
田中 弥生(大学評価・学位授与機構)

9

監査人から監査報告

監査人

田中 弥生 (大学評価・学位授与機構)

**監査人の交代について**

- 田中弥生(大学評価・学位授与機構 教授)  
↓
- 大川一毅(岩手大学 評価室 准教授)
- 大川新監査人の任期は、田中監査人の任期までとします(平成26年度の大学評価担当者集会の日まで)。

10

監査人の交代についてですが、大学評価・学位授与機構の田中弥生先生には去年から1年間監査人をしていただいたのですが、その間に教授に昇進されたりして、なかなかお忙しくなってきたま、なかなか係われないため、可能であれば監査人を他の方に代わっていただきたい、とのことでした。そこで、幹事の岩手大学の 大川先生に、監査人となっていただき、いろいろと助言などをしていただければ、と思っておりますが、い

かがしょうか。

<ご承認の拍手>

ご承認ありがとうございます。なお、大川新監査人の任期は、田中監査人の任期までとします(平成26年度の大学評価担当者集会の日まで)。

それでは、みなさまこれにて、平成25年度の大学評価コンソーシアム総会を閉会させていただきます。